

となり漸やく少康を保つたのである。
 〇、日本主義労働組合の動靜
 福岡地方に於ける日本主義労働組合としては、八幡製鐵所の日本産業労働協進組合と若松市に於ける更生日本労働會の二組合がある。
 協進組合は元日本製鐵労働組合聯合會内部の刷新派を中心に昭和八年八月製鐵所従業員を以て結成されたのであつて、九州地方に於ける産業労働俱樂部系唯一の組合であり、現在六支部組合員數約千五百と稱せられ其の數に於ては日鐵従業員組合に次ぐ縣下第二の組合である。而して其の運動方針は日本精神に立脚して産業報國を標榜し、階級闘争を排するも^はより社會民主主義を奉ずる歐米流の組合運動を以て非常國家的なりとする、従つてメーデーを排棄し獨自の立場より四月

三日に労働祭を舉行したのであるが、其の標語には〇大日本労働祭大示威〇赤色メーデーを粉砕せよ〇愛國労働組合の戦線統一〇階級闘争の絶滅〇非黨國家的資本家の撲滅〇全國産業労働會議の實現〇愛國労働者の生存権確立〇皇道日本の發展、等を掲げたのである。而して亦協進労働組合は製鐵所内に於て日鐵従業員組合と對立的立場にあり、一般従業員の待遇改善運動に就て勢ひ競争的とならざるを得ないので、試みに八月十一日の年次大會に於て決議したる事項を見れば、
 一、共済組合法人化促進、二、解職手当當脱退年金増額、三、職天賃金制改正、四、職天に中元並に年末手当支給、五、公傷患者取扱並に療養所設置、六、保険醫自由選擇、七、職工採用の際従業員の子弟に優先權附與、八、全國労働組合會議實現促進、九、招魂社建立等にして日鐵従業員組合と同様の